

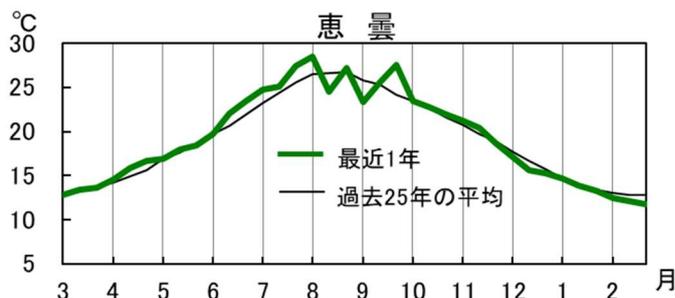
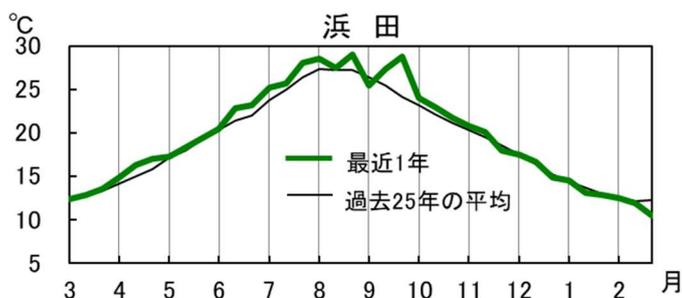


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《2月の海況》



2月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	11.7℃	-0.6℃	やや低め	12.1℃	-0.8℃
中旬	平年並み			やや低め		
下旬	はなはだ低め			かなり低め		



## 《2月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区では2月の水揚げはありませんでした。隠岐地区ではマイワシ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は93.2トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは2,586トンで平年の1.8倍、サバ類は1,090トンで平年の7割でした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではヤリイカがわずかに漁獲されましたが、2月の操業船が1隻のみであったため、漁獲量は非公開とします。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はありませんでした。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではカワハギ類(ウマヅラハギ)、マフグ、アナゴ・ハモ類を主体に、1統1航海当りの漁獲量は22.4トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カワハギ類(ウマヅラハギ)は平年の49倍、マフグは平年の5割、アナゴ・ハモ類は平年の1.4倍でした。その他、マダイは平年の2.2倍、アカムツは平年の1.3倍と好調でしたが、ソウハチは平年の1.0倍、キダイおよびアンコウ類は平年の7割、スルメイカおよびケンサキイカは平年の5割の水揚げでした。

### 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は141トンでした。1統1航海当りの漁獲量は787kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカガレイは平年の3割、ソウハチは平年の4割、ヒレグロは平年の5割でした。その他、マフグは平年の3.4倍、マダイは平年の2.2倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.7倍と好調でしたが、ニギスは平年の7割、アンコウ類は平年の6割、アカムツおよびキダイは平年の5割の水揚げでした。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マイワシ、サワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は31.0トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.5倍、マイワシは平年の7割、サワラ類、マアジは平年の6割でした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1経営当りの漁獲量は2.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向はブリが平年の3.4倍でした。隠岐地区ではスルメイカ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は10.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の3割、マアジは平年の1.6倍、サバ類は平年の8割でした。

### 【釣り・縄】

出雲地区ではサワラ類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は34.3kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の0.6倍、ブリは平年の0.1倍でした。石見地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は42.2kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の2.0倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は50.6kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.1倍でした。

## 【令和7年2月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、サバ類	4,010トン	71%	94%	93.2トン	102%	176%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ヤリイカ	—	—	—	—	—	—
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	カワハギ類(ウマヅラハギ)、マフグ、 アナゴ・ハモ類	492トン	223%	191%	22.4トン	183%	151%
小型 底びき網	大田	アカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ	141トン	65%	52%	787 kg	88%	74%
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マイワシ、サワラ類	186トン	85%	96%	31.0トン	127%	129%
	石見	ブリ	5.8トン	14%	34%	2.9トン	21%	49%
	隠岐	スルメイカ、マアジ、サバ類	20.9トン	49%	49%	10.5トン	49%	49%
釣り・縄	出雲	サワラ類、ブリ	12.8トン	43%	36%	34.3 kg	85%	75%
	石見	サワラ類	22.9トン	139%	100%	42.2 kg	177%	138%
	隠岐	ブリ	11.8トン	70%	65%	50.6 kg	166%	159%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ